



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部経理グループリーダー
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 木村 直樹
 (氏名) 勘田 浩之
 TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,967	19.0	1,450	40.1	1,606	39.4	1,173	38.1
2020年3月期第2四半期	15,999	2.6	2,420	7.1	2,651	27.3	1,894	26.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,288百万円 (19.8%) 2020年3月期第2四半期 1,606百万円 (41.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	362.56	
2020年3月期第2四半期	585.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	62,947	55,314	87.6
2020年3月期	64,706	55,010	84.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 55,172百万円 2020年3月期 54,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		300.00	300.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				250.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,100	20.0	2,500	47.4	2,900	46.8	2,000	48.6	618.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	4,512,651 株	2020年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,276,700 株	2020年3月期	1,276,660 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	3,235,951 株	2020年3月期2Q	3,236,104 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦が長期化したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各国が実施した渡航制限、都市封鎖の影響により、経済活動が停滞しました。国内では、新型コロナウイルスに伴う外出自粛や休業要請が徐々に緩和され、感染拡大を抑えつつ経済活動を再開する方向となっておりますが、収束の目途は不明な状況であり、依然予断を許さない状況となっております。

国内では、自動車市場の減速をはじめとした産業資材分野での販売不振、外出制限や販売店舗の休業などによる衣料分野での販売不振、工期遅延による建築関連分野での販売不振等により、減収となりました。海外では、年初からの新型コロナウイルスによる世界経済悪化の影響を受けたため、各地での顧客における生産量の大幅減少や生産の一時停止、更にはロックダウンによる物流機能の停滞等があり、当第2四半期では、若干の回復基調がみられたものの、全体としては減収となりました。

当社グループとしましては、新型コロナウイルスを主因とする世界的な経済環境悪化の長期化を踏まえ、高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高12,967百万円(前年同四半期比19.0%減)、営業利益1,450百万円(前年同四半期比40.1%減)、経常利益1,606百万円(前年同四半期比39.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,173百万円(前年同四半期比38.1%減)となりました。

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

① 日本

日本における当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は12,725百万円(前年同四半期比18.7%減)、セグメント利益(営業利益)は1,422百万円(前年同四半期比41.3%減)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維メーカー各社が減産する中、衛生材料分野向けの販売が好調でした。海外向けでは、繊維工業分野は堅調でしたが、非繊維工業分野の販売不振もあり、外部顧客に対する売上高は1,347百万円(前年同四半期比17.4%減)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では衣料分野向けの販売が減少し、産業資材分野についても顧客による生産調整の影響で低迷しました。非繊維工業分野では洗剤向けが好調に推移しました。海外向けでは産業用繊維分野が好調でしたが、外部顧客に対する売上高は7,722百万円(前年同四半期比15.5%減)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内の繊維衣料用加工剤の販売は減少し、外部顧客に対する売上高は469百万円(前年同四半期比4.8%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では、衣料の国内生産が年初より悪化しゴールデンウィーク以降に大きく減少しました。非繊維工業関連では、自動車関連をはじめとする海外需要が大きく減少しました。設備投資関連資材は、一部製品の終売により前年同期を下回る販売となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は3,186百万円(前年同四半期比27.4%減)となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は241百万円(前年同四半期比31.7%減)、セグメント利益(営業利益)は31百万円(前年同四半期比794.7%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきまして、インドネシアでは、新型コロナウイルス感染症への感染拡大防止のため、「新型コロナウイルス即応のための大規模な社会制限に関する保健大臣令(2020年第9号)」が制定され、企業活動の停止を余儀なくされました。政府より許可を得て工場を操業再開しましたが、国内顧客の多くが操業を停止していたため、低調に留まっております。その結果、外部顧客に対する売上高は141百万円(前年同四半期比28.8%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましても同様に、国内顧客が操業を制限されていた影響を大きく受けました。その結果、外部顧客に対する売上高は95百万円(前年同四半期比36.5%減)となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られませんでした。外部顧客に対する売上高はそれぞれ4百万円(前年同四半期比9.1%減)及び0百万円(前年同四半期比22.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比1,758百万円（2.7%）減少して、62,947百万円となりました。流動資産は前期末比1,590百万円（3.2%）減少の48,076百万円、固定資産は前期末比168百万円（1.1%）減少の14,871百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が559百万円、受取手形及び売掛金が594百万円前期末より減少したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、建物及び構築物が646百万円、機械装置及び運搬具が1,560百万円前期末より増加の一方、建設仮勘定が2,481百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比2,063百万円（21.3%）減少の7,633百万円となりました。流動負債は、前期末比2,067百万円（24.3%）減少の6,450百万円、固定負債は前期末比4百万円（0.4%）増加の1,182百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、買掛金が971百万円、その他が598百万円、未払法人税等が320百万円前期末よりそれぞれ減少したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、その他の負債が5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比304百万円（0.6%）増加して55,314百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が当連結会計年度における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により202百万円、その他有価証券評価差額金が119百万円増加したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の84.8%から87.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて、659百万円減少（前年同四半期は388百万円の減少）し、36,477百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは940百万円の現金及び現金同等物の増加（前年同四半期は1,661百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,596百万円、売上債権の減少額647百万円、減価償却費471百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額966百万円、法人税等の支払額654百万円、その他の流動負債の減少額444百万円、賞与引当金の減少額177百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは392百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同四半期は805百万円の減少）となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入510百万円、保険積立金の払戻による収入196百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出534百万円、定期預金の預入による支出510百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは984百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同四半期は1,122百万円の減少）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額970百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点において2020年8月7日に公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,089	32,530
受取手形及び売掛金	7,729	7,134
電子記録債権	171	112
有価証券	3,852	3,752
商品及び製品	2,270	2,124
仕掛品	527	521
原材料及び貯蔵品	1,035	1,046
その他	993	857
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	49,666	48,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,675	8,422
減価償却累計額	△5,424	△5,524
建物及び構築物（純額）	2,251	2,898
機械装置及び運搬具	12,532	14,315
減価償却累計額	△10,588	△10,810
機械装置及び運搬具（純額）	1,943	3,504
土地	529	529
建設仮勘定	2,530	49
その他	1,465	1,475
減価償却累計額	△1,311	△1,314
その他（純額）	153	161
有形固定資産合計	7,409	7,142
無形固定資産		
その他	31	48
無形固定資産合計	31	48
投資その他の資産		
投資有価証券	6,317	6,668
繰延税金資産	287	160
その他	1,000	856
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	7,598	7,679
固定資産合計	15,039	14,871
資産合計	64,706	62,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,902	4,931
未払法人税等	707	386
賞与引当金	311	134
その他	1,596	998
流動負債合計	8,518	6,450
固定負債		
退職給付に係る負債	1,002	1,000
資産除去債務	109	109
その他	66	72
固定負債合計	1,178	1,182
負債合計	9,696	7,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	49,066	49,269
自己株式	△7,321	△7,322
株主資本合計	54,353	54,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	650	770
為替換算調整勘定	△154	△165
退職給付に係る調整累計額	6	11
その他の包括利益累計額合計	502	616
非支配株主持分	154	142
純資産合計	55,010	55,314
負債純資産合計	64,706	62,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	15,999	12,967
売上原価	11,622	9,771
売上総利益	4,377	3,195
販売費及び一般管理費	1,957	1,744
営業利益	2,420	1,450
営業外収益		
受取利息	34	12
受取配当金	55	57
持分法による投資利益	53	83
為替差益	16	-
その他	96	116
営業外収益合計	257	270
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	7	11
為替差損	-	98
支払手数料	2	2
損害賠償金	13	0
その他	2	1
営業外費用合計	25	114
経常利益	2,651	1,606
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	3	10
特別損失合計	3	10
税金等調整前四半期純利益	2,649	1,596
法人税、住民税及び事業税	697	345
法人税等調整額	56	70
法人税等合計	753	415
四半期純利益	1,895	1,180
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,894	1,173

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,895	1,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△297	119
為替換算調整勘定	—	△16
退職給付に係る調整額	6	6
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△0
その他の包括利益合計	△288	108
四半期包括利益	1,606	1,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,605	1,287
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,649	1,596
減価償却費	313	471
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△90	△70
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	△11	87
持分法による投資損益 (△は益)	△69	△80
売上債権の増減額 (△は増加)	234	647
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△120	133
仕入債務の増減額 (△は減少)	84	△966
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△166	△177
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	54	8
固定資産除売却損益 (△は益)	2	10
その他の営業外損益 (△は益)	8	3
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△63	134
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△46	165
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	11	0
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△273	△444
小計	2,518	1,519
利息及び配当金の受取額	96	75
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△953	△654
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,661	940

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△730	△534
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△53	△1
投資有価証券の償還による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	-	△24
定期預金の預入による支出	△510	△510
定期預金の払戻による収入	510	510
保険積立金の積立による支出	△31	△17
保険積立金の解約による収入	6	-
保険積立金の払戻による収入	-	196
その他	1	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△805	△392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,121	△970
非支配株主への配当金の支払額	-	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,122	△984
現金及び現金同等物に係る換算差額	△122	△222
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△388	△659
現金及び現金同等物の期首残高	36,814	37,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,425	36,477

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	15,645	354	15,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	131	7	138
計	15,776	361	16,138
セグメント利益	2,425	3	2,428

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,428
棚卸資産の調整額	△8
四半期連結損益計算書の営業利益	2,420

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	12,725	241	12,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67	10	77
計	12,792	252	13,044
セグメント利益	1,422	31	1,453

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,453
棚卸資産の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,450